

東横線廃線跡地（横浜～桜木町駅間）の利用計画にあたり、 広く市民の皆さんのご意見を伺います！ ～廃線跡地利用に関するアンケート調査について～

横浜～桜木町駅間の廃線跡地については、「**自転車も通れる遊歩道や駐輪場**」として再生することを基本に検討を進めています。国土交通省においても、横浜市の計画に合わせて**国道16号の歩道環境整備等**を検討しています。**計画の検討にあたり、広く市民のアイデアやご意見を伺い、計画に反映するため、横浜市と国土交通省と共同で、アンケート調査を実施**いたします。

1 実施期間

平成16年3月17日（水）～4月10日（土）
（回答のはがきを4月10日までにポストへ投函していただきます。）

2 アンケートの方法

跡地利用計画の概要や質問事項を記載したパンフレットを配布し、添付のはがきに回答を記入の上、郵送いただきます。

3 アンケートの配布について

(1) 野毛・戸部・高島地区等の地元沿線住民

3地区の各世帯に配布

(2) 横浜都心部への来街者

JR桜木町駅及びみなとみらい線みなとみらい駅付近において街頭配布（3月下旬）

(3) 一般市民等

各区区政推進課、都市計画局企画調査課、市民局市民情報室及び横浜国道事務所調査第一課の各窓口で配布

4 調査項目

択一式を基本に**各項目とも自由にアイデアをいただけるように配慮**します。

- (1) 高架上の遊歩道の施設について
- (2) 駅舎跡の活用について
- (3) 国道16号歩道横の壁面について
- (4) 国道16号の歩道について
- (5) 計画全般に対するアイデア

5 結果の公表

アンケートの結果については、横浜市及び国土交通省横浜国道事務所のホームページ等にて公表します。

6 調査後の進め方

アンケート調査の結果等を踏まえ、地元の方々と引き続き検討を行いながら、事業化に向けて、具体的な検討に取り組んでまいります。

東横線廃線跡地の (横浜～桜木町駅間) 利用計画について

皆様のアイデアをお聞かせください

広く皆様の

アイデアやご意見などを伺い、

計画に反映させるため、

アンケートを行うことにしました。

ご協力をお願いします。

横浜市都市計画局

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所

横浜から桜木町まで続く高架を残し、快適な緑の空間として再生したいと考えています。

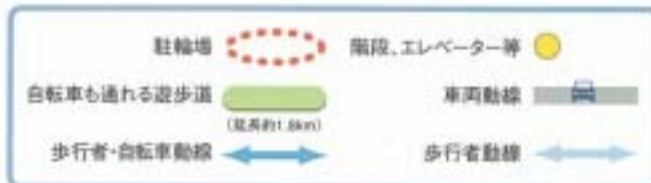
1 放置自転車問題の解決に向けて、横浜駅や高島町駅、桜木町駅付近の駅舎跡や高架下に「駐輪場」を設置することを検討します。

2 横浜都心部の回遊性向上と歩行者・自転車の安全性・利便性を確保するため、高架を「自転車も通れる遊歩道」として再利用することを検討します。

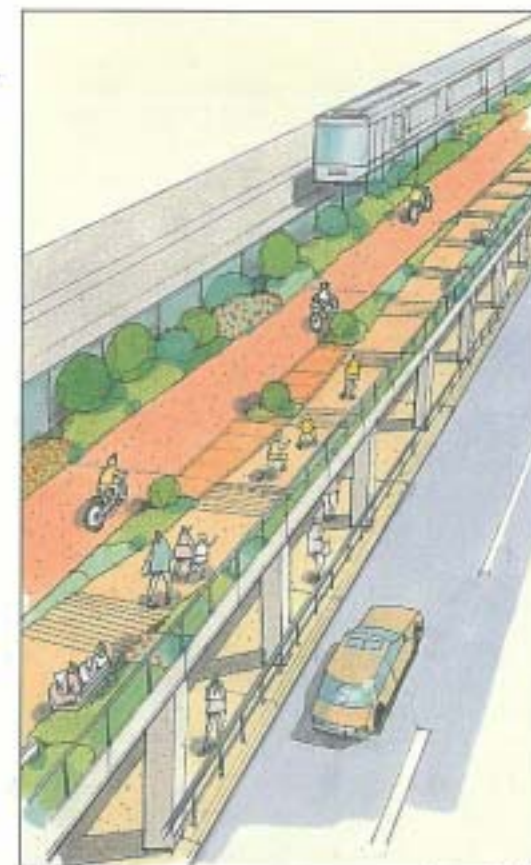
3 遊歩道と周辺地区とのネットワークについても検討します。

4 高架下の国道16号の歩道についても、環境改善を検討します。

東横線廃線跡地利用の考え方



国道16号沿いの断面のイメージ（一般的な箇所）



イメージ図

廃線跡地周辺の現状



●駅周辺は、慢性的な放置自転車の解消が課題となっています。



●幹線道路が多く、歩行者・自転車の安全性向上が望まれます。

●都心部に緑を増やしたいと考えています。

●高架下の歩道空間の環境改善が望まれます。

◆中期政策プラン 「都心部での自転車施策の展開」

横浜市は平成14年度に策定した市政運営の5ヵ年計画「中期政策プラン」で、レンタサイクル事業などをはじめとする自転車施策の展開を掲げ、横浜都心部の回遊性向上と地域の活性化を目指しています。

自転車先進国オランダの自転車施策の一例



レンタサイクル

自転車道の整備

廃線跡地の利用計画についてのアンケートにご協力をお願いします。

350万市民が
 ごみ減量・
 リサイクルに貢献！ **ヨコハマはG30**

問1 高架上の遊歩道の施設について

遊歩道にはどんな施設があると
 よいと思われますか？

(3つ以内でお選びください。)

1. 人も自転車も快適に通れる舗装
2. 植栽や花壇
3. ベンチ
4. 案内板
5. 展望スペース
6. 転落防止や目隠しのためのフェンス
7. JR根岸線との境のフェンスや緑地帯
8. 街路灯
9. 階段・エレベーターなどの昇降施設
10. その他 ※()内にアイデアをお書きください。

問2 駅舎跡の利用について

東横線高島町駅・桜木町駅の駅舎跡は、
 駐輪場の他、どのように活用したら
 よいと思われますか。

(3つ以内でお選びください。)

1. バイク駐車場
2. 休憩所
3. トイレ
4. ロッカー室
5. 自転車利用者などへのサービス施設
6. レンタサイクル貸出所
7. 展示スペース
8. 観光案内スペース
9. イベント・活動スペース
10. その他 ※()内にアイデアをお書きください。

問3 国道16号歩道横の壁面について

落書き(壁画)をどのようにしたら
 よいとお考えになりますか。

(1つをお選びください。)

1. 壁面を管理が行き届いた質の高い
アートなどとして活用する。
(※アートなどとして活用するアイデアをお書きください)
2. 落書き(壁画)を消す。
3. 現状のまま特に何もしない。
4. その他(※落書き防止のアイデアもお書きください)

【参考】落書き(壁画)については、表紙・裏面をご参照ください。

問4 国道16号の歩道について

高架下の歩道について
 改善してほしいことは何でしょうか？

(3つ以内でお選びください。)

1. 夜間の照明をもっと明るくする。
2. 昼間でも暗いので、
明るくなるように工夫する。
3. 天井や柱をきれいにする。
4. 歩道舗装の色彩やデザインを
よくする。
5. 車道との間の防護柵の色彩や
デザインをよくする。
6. その他 ※()内にアイデアをお書きください。

問1から問4までの質問をお読みいただき、
 ハガキに回答をお願いします。

アンケート回答欄

質問項目をお読みの上、ご記入をお願いします。

■各質問の該当する数字に○をお付けください。

問1 1 2 3 4 5 6 7 8 9

10 ()

問2 1 2 3 4 5 6 7 8 9

10 ()

問3 1 2 3 4 ※アイデアをお書きください。

問4 1 2 3 4 5

6 ()

■東横線廃線跡地利用計画や国道16号の
 歩道環境整備について皆様のアイデアをご自由
 にご記入ください。

お問い合わせ先

跡地利用計画全般について

横浜市都市計画局
企画調査課交通担当

〒231-0017
横浜市中区港町1-1
TEL 045-671-3511

国道16号歩道環境について

国土交通省関東地方整備局
横浜国道事務所 調査第一課

〒221-0855
横浜市神奈川区三ツ沢西町13-2
TEL 0120-344-974

今後の進め方

皆様からいただいた
アンケートのアイデアなどを
跡地利用計画に反映させるために、
次のような流れで進めていきます。

アンケート実施

アンケート回収

結果分析・取りまとめ

アンケート結果の公表
平成16年6月頃

跡地利用計画へ反映

地元説明会などによる
計画案の公表・説明・意見交換

事業化へ

POST CARD

料金受取人払

横浜港局
承認

562

有効期限
平成16年4月30日まで
(切手不要)

2 3 1 - 8 7 9 0

神奈川県横浜市中区港町1-1

横浜市都市計画局企画調査課交通担当 行



該当する項目に○などをご記入ください。

年齢

1 10歳未満 2 10歳代 3 20歳代 4 30歳代
5 40歳代 6 50歳代 7 60歳代以上

性別

1 女性 2 男性

職業

1 自営業 2 会社員 3 公務員
4 学生 5 主婦・主夫 6 パート・アルバイト
7 無職 8 その他()

日頃利用している交通機関

1 徒歩 2 自転車 3 バイク 4 自動車
5 バス 6 電車 7 その他()

あなたのお住い ※ ()内もご記入ください

1 横浜市内()区()町()
2 横浜市外()都・道・府・県()市・区・町・村()

ご協力ありがとうございました。

ハガキは4月10日までに、
切手を貼らずにポストへ
投函してください。
(コピー等で複製したものは送れません。)

海外での鉄道高架活用事例

鉄道高架跡をプロムナードとして活用した、フランス(パリ・バステューユ)の事例です。



高架上の遊歩道



再生された高架構造物



遊歩道にある街路灯・植栽

※市民グループ(東横線跡地有効利用および横浜発展を考える有志の会)の方々から情報をいただきました。

東横線高架下ゆかりのアーティスト紹介

ロコサトシさん

1970年代後半より、東横線高架下で壁画を描き始め、横浜博覧会で最大級のバビリオンをペイントするなど、横浜出身のアーティストとして活躍中。最近では、街と学校と家庭とのつながりを深めるため、子供を対象としたワークショップの開催など、美術を通じた様々な活動に取り組まれています。



市営バスのペイントも話題を呼びました。



高架下に描き始めた頃の壁画



ヨコハマ・グッズも有名です。

※ 横浜001は、横浜市と(財)横浜観光コンベンションビューローが、オリジナルを横浜みやげとして推奨する信頼のブランドです。

企画・発行

横浜市都市計画局企画調査課交通担当

〒231-0017

横浜市中区港町1-1 TEL 045-671-3511

国土交通省関東地方整備局横浜国道事務所調査第一課

〒221-0855

横浜市新奈川区三ツ沢西町13-2 TEL 0120-344-974

R100

本誌はR100の発行を後援しています

表紙写真/森日出夫